

アムンディ・マーケットレポート

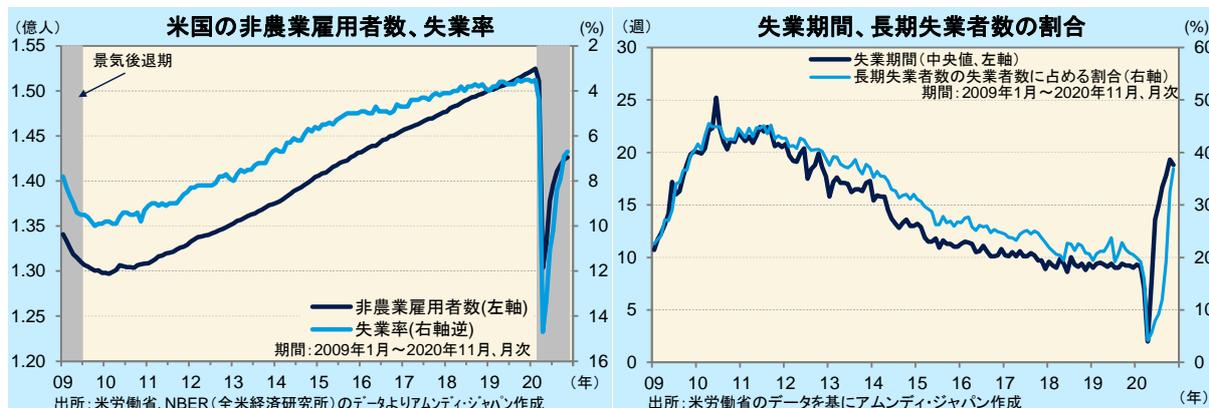
米国雇用統計(11月)について～当面の市場展望

- ① 非農業部門雇用者数は前月比+24.5万人、失業率は6.7%でした。雇用回復はより緩やかになりました。
- ② コロナ禍でこれ以上の大幅な雇用回復は難しく、景気対策による一定以上の成長維持が期待されます。
- ③ 大きな政治リスク剥落で株価が上昇した一方、為替は今後の雇用環境の不透明さを反映した動きです。

コロナ禍でのさらなる雇用拡大のためには

12月4日、米労働省が発表した11月雇用統計(速報)によると、非農業部門雇用者数は前月比+24.5万人、失業率は前月比-0.2の6.7%でした。3~4月の雇用減少幅2216万人に対し、5~11月の増加幅は1233万人となり、コロナ禍で失われた雇用の55.6%を回復しました。雇用回復ペースは、引き続き明暗が分かれるのに加え、コロナ対策上、業容回復に限界がある業種も多く、雇用増加はさらに緩やかになってきました。

コロナ禍が長期化する中、失業者数に占める長期失業者数(失業期間が27週以上)の割合の上昇が続いています。11月は36.9%に上り、7年ぶりの高水準です。失業期間は18.8週で7ヵ月ぶりに前月比低下し、長期失業者の再雇用も進み始めていますが、さらなる雇用拡大をいかに図るかは今後の政策課題です。米国では次期政権においても大規模な景気対策が打ち出されると見込まれます。経済成長を推し進めることが、さらなる雇用拡大につながることは確かでしょう。



景気先行き安心感が株高、ドル安に

米大統領選以降、株高、ドル安円高傾向が続いており、NYダウは4日、終値で初めて3万ドルの大台を超えました。ドル・円相場は、景気の先行き安心感の高まりからドル需要が後退し、ドル安主導の円高となっています。

株価は、NYダウの予想PER(向こう12ヵ月ベース)が約22倍と、過去1年の平均の約20倍を10%程度上回り、やや割高ですが、景気対策効果で高めの成長が続くことを想定すれば、それほど極端ではなく、今後も底堅い展開が予想されます。一方、ドル・円相場は、日本側に金融政策の大幅な強化などの変化がない限り、当面はもみ合いの展開が続くと見込まれます。



本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。

本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。

本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.85%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.254%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭にて投資信託説明書(交付目論見書)をご用意しております。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<MR2012007>